

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	公表日					
きらきらぼし	2026/3/20					
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	ベッドや布団、マットなどを利用し、子ども達が安全に過ごせるようにしている。 利用児の人数に合わせて、布団を敷くスペースや椅子の配置を調整している。	利用者によってはスペースが十分でないと感じることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	子供の人数より職員の人数の方が多い 1対1になるくらい職員は配置されている。入浴時など、一人に対して職員が二人対応する時には手薄になることもある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	生活空間は子どもにわかりやすい構造化されていると思う。バリアフリーに関しては危険と思われる箇所はある。 部屋の中までバギーで入れるようになっている。 「トイレ」「お風呂」など、文字とイラストで表示している。また、同じイラストを使ったスケジュールボードを使用し、ひとりひとり対応している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日掃除している。 毎日清掃、消毒をしている。 毎日の清掃と消毒液を使用しての消毒を実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	必要時はパーテーションを使用して個別の空間を作っている。 相談室がある。 個別に対応が必要な時は、相談室や脱衣所などを利用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	目標立てて評価できるようになっている。 年2回、目標設定と管理者による振り返りの面談を行っている。 毎月、職場会議を実施して周知している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	4	チャットでもやり取りできるようになっている。	初年度のため、評価を行っていない。 今年度からなので、まだできていない。今後、行っていく。 自己評価が初回なので、まだ改善には繋がっていない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員でコミュニケーション取りやすい 毎月の職場会議で話し合い、改善している。 毎月、職場会議にて意見交換を実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		外部評価されているかわからない 初年度のため、評価を行っていない。 今後、必要になれば、取り入れていく。 第三者による外部評価はされていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	気になる研修があれば受講させていただける。 外部研修や職場内での法廷研修を行っている。外部研修は、職場会議時に他職員にフィードバックしている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	計画書ができたらアナウンスしてくれる。 ホームページ上で公表している。	支援プログラムのことを知らない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	計画作成していないが、それに沿って関わられるように努力している。 初回のアセスメントや定期的なモニタリング、担当者会議時に保護者の話をしっかり聞いて、作成するようにしている。 児発管が定期的にモニタリングを実施して計画書を立案している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	立案する場に立ち会ったことないが関わり方を教えていただいた。 ケア会議で職員の意見を取り入れながら作成している。 計画書の案が作成された後、ケア会議を実施している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	計画書をコピーして確認できるようになっている。 できているところもあるが、毎回の支援に活かされていないところもある。 計画に沿った支援ができるよう検討している。 計画書作成後は職員に回覧を実施している。	できているところもあるが、毎回の支援に活かされていないところもある。 計画に沿った支援ができるよう検討している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	質問内容に適していないかもしれないが、子供たち一人一人の行動を共有し、どうすべきか定期的に話し合っている	子どもに沿った道具や遊びを提案しているのを見たが自分ではできていない。 モニタリング、計画書を作成する際には確認している。より詳しく把握するために、アセスメントシートの見直しも必要だと感じる。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2	どんな支援が必要と考えられていると思う。	計画に上記内容が含まれているかわからない。 どんな支援が必要と考えられていると思う。 具体的な内容に設定するようには心がけているが、今後はより詳しくわかりやすくするよう改善も必要だと感じる。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	立案は自発管が行っていると思う。 意見交換、情報共有されている。 児童指導員チームで立案を行い、職場会議で他職員の意見も聞きながら行っている。 児童指導員が中心となり計画、立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	試しに体験できそうなことを考えていると思う。まだ自分では提案したことない。 季節に応じた活動を行えるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	リハビリや集団活動を体験できるようになっている。 決まった活動を個別に行ったり、少人数での集団活動を行っている。	今後、今より具体的な活動内容の検討が必要かと思われる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	朝礼時にどんなことするか説明ある。 毎朝、朝礼でその日の内容を確認している。 朝礼にてすり合わせされている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	終礼時に言うことができる。 終礼で振り返りを行っているが、送迎の時間等によりできない時もある。 できない時には、連絡ノートで共有するようにしている。 終礼時に振り返りと共有事項を周知している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	毎日記録を行い、活動など記入していた。 個人のケア記録、業務日誌に記録を残している。 アプリを使用して記録を実施している。	

関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	まだ経験ないが、モニタリングはされていそうだった。半年を1回を目途にモニタリング、計画書の見直しを行っている。児発管が半年毎にモニタリングを実施している。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	2	できるように促しながら関わっていききたい。基本活動をできるように活動予定を立てて実践している。職員が基本活動を意識できるようにしていきたい。	4つの基本活動について、詳しく知らない。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	コミュニケーション心がけている。意思表示が難しいお子様にも、二つの物から選択するなど、意思表示しやすいようにしている。		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	参加したことはないが、担当者会議が開催されている。主に児発管が、必要に応じて看護師や管理者、機能訓練士など、状況に合わせて参加している。		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	施設に往診があるのはいいと思った。協力医療機関の先生に毎月1回来ていただいている。	立ち上げ一年目ということもあり、今後は地域とのつながりを持てるような活動を計画していくことが必要だと思う。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	自分ではまだしたことないが、保護者の方と情報共有されている。学校のプリントをいただいたり、保護者を通して行っている。学校の年間行事等に関しては学校より、保護者に確認してくださいと言われるので、そこが少し改善されたいですね。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	5		実際のところを知らない。研修などはできていない。今後行っていきたい。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	6		まだ、立ち上げ一年目のため、そのような状況になっていない。しかし、今の業務の様子から見て、移行支援はしっかりと考えられる。放課後等デイサービスから障害福祉サービスへの移行例がない。まだ卒業する方がいないがして行けたらいいと思う。該当する利用者がまだいない。対象児童がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4	訪問して助言をいただいたり、情報共有などを行っている。今後、研修などを行っていただけると良い。	されているかもしれないが、しているかどうか分からない。地域の児童発達センターと、実際にどのように連携をとっているのかわからない。まだ経験できていない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6		お出かけで行けたらいいなと思う。地域の子どもと逢って外出などで会う機会はあるが、交流できる場を設けることはできていない。	
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。	4	5		今後は必要になると思う。今後、参加していきたい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	保護者とコミュニケーション取るように心がけていく。アプリの連絡機能や送迎時の会話を通して行っている。アプリや送迎時に情報交換している。		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	必要な時は家族支援をしているとのことと、もし経験できたらしていきたい。個別に依頼があった時には対応している。市などが行っている研修会などの案内はしている。家族対象の研修会は今後行っていきたい。親子パン教室を実施する事で保護者同士の交流がもてた。今後、交流会の開催など検討していきたい。		
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	自分では行っていないが、事業所として行なっていると思う。自分ではしたことない。契約時に行っている。契約時に実施している。	
		37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	面談の時に詳しく話をしてくださっている。意思表示が難しいお子さんも多いので、家族にはしっかり意向を聞くようにしている。	
		38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	1	立ち会ったことはないがされていると思う。初回、更新時に行っている。	
		39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2	必要に応じてされていると思う。要望があれば、個別に対応するようにしている。	
		40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	親子パン教室など、活動の中で実施したことはある。保護者の方も参加のイベントされている。家族参加のパン教室などを行い、保護者同士の交流ができる場を設けている。今後定期的に開催していきたい。親子パン教室を一度開催した時に保護者同士の交流がもてた。今後、こう言ったイベントを開催して行けたらと思う。	
		41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	まだ経験ないが、苦情等共有できるようにしている。その都度、迅速に対応している。大きな苦情はない。	
		42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	まだ経験ないが、今後インスタ含め更新していきたい。アプリ内やインスタグラムで発信している。Instagramを利用して、子ども達の様子を配信している。	
		43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人の書類は鍵付きのキャビネットで保管している。	
		44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	言葉遣いを気をつけるよう心がけている。絵カードなどを活用している。	
		45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		これからの課題だと考える。地域の方とどうしているのかはまだ把握できていない。今後、地域住民との交流ができる場を設けていきたい。
	非常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	まだ参加はできていないがマニュアルがある。マニュアルを策定し、定期的な訓練を行っている。全てを保護者に周知はできていない。	
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	避難訓練等されているかはまだわからない。策定し、定期的に訓練を行っている。	
		48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	てんかん発作時の対応がある。アセスメント時に確認している。初回アセスメント時に聞き取りしている。	
		49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	アレルギーの把握をされている。今後、必要であれば指示書をもらうようにする。	

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	訓練されているかはわからない。 作成し、定期的に研修等を行っている。安全には充分注意するよう日頃から意識している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3	まだ経験したことなくわからない。 家族への周知は今後行っていく。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット、インシデントがあったら情報共有できるようになっている。 書類の閲覧や職場会議で共有、検討をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	ヒヤリハット、インシデントがあったら情報共有できるようになっている。 書類の閲覧や職場会議で共有、検討をしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	身体拘束について明記あった 対象者がいればするようにしているが、今は対象がない。	